

編集後記

この編集後記を執筆している2月、いよいよ第25回冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が、イタリア・ミラノ/コルティナ・ダンペッツォで開催されます。前回大会は2022年に北京で開催されましたが、当時は新型コロナウイルス感染症の影響により、なお多くの制約下での開催となりました。中国政府は「ゼロコロナ政策」を掲げ、観客は中国在住者のみに限定され、選手たちは空港到着から出国まで一般市民と完全に遮断された「クロズドループ（閉鎖型バブル）」に入り、指定された場所のみを移動することが許されていました。しかし今回は、このような強制的なバブルは存在せず、選手や関係者への毎日のPCR検査も行われず、一般観客も従来通り入場可能となり、前回以上に賑やかな大会となることが期待されます。

一方で、今大会の開催準備にあたっては、近年話題となっている様々な障壁があったようです。資材価格の高騰により会場建設費が大幅に上昇し、イタリア政府の資金調達には大きな苦勞があったと報じられています。これは病院経営においても同様で、資材高騰は医療機関の収支を悪化させる大きな要因の一つとなっており、決して他人事ではありません。また、以前私が担当した編集後記では「地球温暖化と日本の酷暑」を取り上げましたが、イタリアで開催される冬季大会においても気候変動は深刻な問題となっています。温暖化の影響により、コルティナを含むアルプス山脈地域では天然雪の著しい減少に直面しており、多くの競技が人工雪に依存せざるをえない状況にあります。人工降雪機の大量使用は、水資源やエネルギーの莫大な消費につながり、環境面および財政面の両面から、持続可能性が大きな課題となっています。

今回の大会における明るい話題としては、冬季オリ

ンピック史上、最もジェンダーバランスのとれた大会になる点が挙げられます。出場枠に占める女性の割合は47%に達し、1924年の第1回冬季オリンピックにおける4.3%と比較すると、ジェンダー平等に向けた取り組みの大きな進展がうかがえます。今大会においても、多くの女子選手の活躍が期待されます。

さて、本号の特集は、その女性を対象とした「更年期女性の手指障害の治療」です。ご企画を担当された平瀬雄一先生をはじめ、貴重な原稿をご寄稿いただいた著者の先生方に、心より御礼申し上げます。本特集では、まず更年期障害に特徴的な症状や検査・診断、運動療法を含めた治療について、整形外科医にとって理解しやすく解説していただいています。続いて、更年期女性が抱える手指症状に関する電話相談データをもとに、この世代の女性たちが日常生活でどのような悩みを抱え、適切な治療を強く求めているかという現状を明らかにしていただきました。さらに、2022年に日本手外科学会が提唱した「メノポハンド」について、その概念や定義をわかりやすく解説していただいています。後半では、メノポハンドや手指関節の変性に対する保存治療および手術治療の実践が紹介されており、本特集を通して、診断から治療までを網羅的に理解できる構成となっています。

女性が男性と同様に社会の様々な場で活躍する現代において、女性特有の疾患に対する整形外科医の役割と貢献は、ますます重要になっています。本特集が、更年期女性の手指障害に対する適切な治療の普及と、女性患者の悩みの軽減につながることを、心より願っております。

(今釜史郎)

「整形・災害外科」第69巻 第3号 (3月号) 2026年3月1日発行 (毎月1回1日発行) 定価 3,190 円 (本体 2,900 円 + 税 10%) 年間購読料金 定価 49,940 円 (本体 45,400 円 + 税 10%) [年間13冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代] [年間予約購読者に限り送料無料で]	発行所 金原出版株式会社 発行者 前田達也 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 (株) 文京メディカル TEL 03(3817)8036
---	--

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。
- ・教育機関、医療機関、企業などにおいて本誌を無断で複製すること (コピー、スキャン、デジタルデータ化など) は「私的使用」など著作権法上の限られた例外にはあらず、違法となります。また、限られた例外に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して複製を行うことは違法となります。
- ・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- ・本誌を AI (人工知能) 分野に関する用途で許諾を得ずに利用する行為は、当社の利益を不当に侵害する可能性があります。必ず事前に当社までお問い合わせください。